

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高齢者徘徊SOSネットワーク事業			事業番号	011-073
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課

### I. 基本情報

<b>事業の位置付け</b>							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3(2021)～5(2023)年度）					
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法					
<b>事業の概要</b>							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	認知症の高齢者	対象数	約2.5	単位	万人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	認知症の高齢者が徘徊したときに、高齢者の安全の確保とその家族への支援を行い、地域で安心して暮らせるようにする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>&lt;事業概要&gt;</p> <p>徘徊のおそれのある認知症の高齢者等の事前登録を行い、徘徊した際に身体的特徴や服装等の情報を協力者に電子メール又はFAXで一斉送信し、公的機関や介護、医療等の事業者、地域住民の協力を得て早期発見につなげる。また、徘徊のおそれがあるなど、支援が必要な高齢者を地域で見守っていく環境づくりを行う。</p> <p>&lt;配信までのプロセス&gt;</p> <p>①徘徊の恐れがある認知症の高齢者の方に事前登録をしていただく。                  ②事前登録者が行方不明となった際、利用申請を提出していただく。                  ③利用申請を受け付けた市役所は、行方不明となった高齢者の情報を各区役所、保健センター等の行政機関と、協力している民間企業や市民（交通機関、ショッピングセンター、民生委員児童委員会・校区福祉委員会・自治連合協議会の所属者等）に提供し、警察の捜索を補完し、早期発見に協力する。</p>					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪ガスセキュリティサービス（株）、バイザー（株）					
10	公民連携・協働事業						

### II. 事業目的の達成状況

<b>事業の成果や活動実績の測定</b>						
11	定性的な成果目標					
	認知症の高齢者等が地域で安心して暮らせるような環境構築を行うこと					
	当該目標を設定した理由	徘徊のおそれがあるなど支援が必要な認知症高齢者等について、地域で見守るための環境を構築することを目的とした事業のため。				
	目標に対する実績	徘徊のおそれがある方を事前登録することで、支援が必要な高齢者を地域で見守っていく環境構築を行った。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	事前登録者数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	975	1,110	1,230
			実績値	968	1,103	
			達成率	99%	99%	
当該指標を選定した理由	当事業の事前登録者数を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	事前登録者数は累計値					

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	高齢者徘徊SOSネットワーク事業	事業番号	011-073
-------	------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13 財源内訳	630	590	970	569	951
国支出金	243	227	373	220	366
府支出金	121	114	187	109	183
市債					0
その他（第1号被保険者保険料）	145	136	223	131	219
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	121	114	187	109	183
14 人件費 (b)	2,430	2,460	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,060	3,050	3,430	3,029	3,411

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	消耗品費	R3	決算	0	0		R3	決算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
	通信運搬費	R3	決算	30	6		R3	決算		
		R4	予算	26	5		R4	予算		
	各業務委託料	R3	決算	264	50		R3	決算		
		R4	予算	297	57		R4	予算		
	その他使用料及び賃借料	R3	決算	275	53		R3	決算		
		R4	予算	628	121		R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分		単位	令和2年度	令和3年度
17	① 事前登録者数	人	968	1,103
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,050	2,989
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,151	2,710
備考 (算出についての説明等)				

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和3年度は新たに135人の登録を受け、事前登録者数は延べ1,103人となった。また、協力機関数も44件増加して399件となり、更なる体制整備が進められた。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 認知症の高齢者等が行方不明となったときに、保健、医療、福祉、介護等の事業者や地域の住民の支援を得て、当該認知症高齢者を早期に発見できるような体制を構築することで、認知症の高齢者等の安全及びその家族等への支援を図ることにつなげられている。  
また、大阪府警察が平成29年度から実施している「認知症高齢者等支援対象者情報提供制度」によって、情報提供された認知症の疑いがある方に対して見守りメールへの事前登録を促すなど、各地域包括支援センターと連携して登録者を増やし、徘徊時に早期に発見できる体制整備に努めている。  
また、「高齢者見守りネットワーク事業」と連携することにより、協力機関数を増加させることにも成功した。